



2016年3月7日

各 位

会社名 横河電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 西島 剛志
コード番号 6841 東証第一部
問い合わせ先 コーポレート・コミュニケーション室長 川中 定
Tel 0422-52-5530

英国 KBC 社株主へのスキーム・オブ・アレンジメント書類発送に関するお知らせ

2016年2月17日に発表いたしました「英国 KBC 社を完全子会社化するための友好的な買収手続き開始について」に関連して、KBC Advanced Technologies plc（本社：英国ウォルトン・オン・テムズ（サリー州）、CEO：Andrew Howell、以下「KBC 社」）は、英国時間 2016 年 3 月 4 日に、スキーム・オブ・アレンジメント（Scheme of Arrangement）に関する案内・手続き書類を同社株主へ発送いたしましたのでお知らせいたします。

上記の案内・手続き書類を含む英国の公開買付規則に基づく開示の詳細（英語）につきましては当社ウェブサイト（<http://www.yokogawa.com/>）よりご参照下さい。

また、当該書類に記載されております今後のスキーム・オブ・アレンジメントに関する主なスケジュール（予定）は、下記のとおりです。

- | | |
|------------|--|
| 2016年3月29日 | 英国司法裁判所の指示に従って開催される KBC 社株主集会の承認 ならびに KBC 社株主総会における決議 |
| 2016年4月5日 | 英国司法裁判所による承認 |
| 2016年4月7日 | スキーム・オブ・アレンジメントの効力発生 |
| 2016年4月8日 | KBC 社株式の上場廃止（AIM 市場） |

以 上

将来の見通しに関する記載

本開示資料には、将来の見通しに関する記載が含まれています。「目標とされている」、「考えられている」、「期待されている」、「予期されている」、「意図されている」、「予定されている」、「評価されている」、「目指されている」、「するだろう」、「可能性がある」、「予見されている」、「計画されている」およびこれらに類する表現を用いた記載（その反対の意味の記載を含みます。また、これらの記載に限られません。）は全て、将来の見通しに関する記載です。将来の見通しに関する記載には、以下のものが含まれます：本件買収により横河電機にもたらされる期待利益に関する記載、本件買収の背景および理由、横河電機又は KBC 社の今後の見通しに関する情報および将来の資本支出、経費、収益、利益、シナジー、経済性および将来性。将来の見通しに関する記載は、その性質からして、リスクや不確実性を含んでおり、それらのリスクや不確実性は、予期される結果に重大な影響を及ぼす可能性があります。また、そのようなリスクや不確実性は、一定の重要な前提に依拠しています。これら多くの要因は、実際の結果と、将来の見通しに関する記載において推定され又は示唆された内容（KBC 社の横河電機との統合の成功に関するリスクを含みます：KBC 社との統合に関して想定されていた費用の増加、期待された利益を得るための投資の必要、横河電機に明らかにならなかった、本件買収によって実現される利益のタイミングおよび額に影響を与える KBC 社に関連する事実等。）との間に、重大な乖離をもたらす可能性があります。横河電機は、将来の見通しに関する記載についての KBC 社の期待の変化若しくは本資料開示日以降に発生した、将来の見通しに関する記載が前提としている出来事、条件若しくは状況の変更を反映した将来の見通しに関する記載の更新若しくは変更を公表すること又は本開示資料に含まれるその他の情報を最新のものに保つことについて、義務を負い又は保証を行うことを明示的に否認します。そのため、本資料開示日において記載されたものに過ぎない将来の見通しに関する記載を過度に信用すべきではありません。